

第一回条件反射制御法学会韓国研修会 病院見学会のご案内

大同病院は精神科単科の病院で、2つの閉鎖病棟と2つの開放病棟をもち、病床は全部で238床です。

治療共同体理念に基づく多職種によるダイナミックなチーム医療を実践しており、入院期間を短くして、後に外来を中心として、社会内での支援を中心にした精神科医療を実施しています。平均在院日数は34日間です。

その短期入院を支えるのは、病院を中心にして整備したデイケア、訪問看護、職業リハビリ、社会復帰支援センター、病院附属学校、青少年センター、住居施設等です。それらの施設が入院後の患者、あるいは当初から外来で診療が始まった患者の回復を支えます。

大同病院は、救急に対応する部門ももっています。昼夜の入院が可能であるため、さまざまな疾患をもつ患者が入ってきます。その中にはアルコール中毒、麻薬中毒、病的賭博、繰り返される自傷行為、病的盗癖、ニコチン中毒、摂食障害、性問題、パニック障害等、一般的に治療が難しい患者達が含まれています。

それらの患者達に対応するために治療チームを作り、2018年の初めから条件反射制御法を導入しています。その準備と発展のために、院長の朴相運医師が条件反射制御法学会の開催する研修を大阪で受け、その後、下総精神医療センターの5日間の実地研修を受けています。現在も日本の会員と連絡を取りながら、条件反射制御法を進めています。

大同病院が現地事務局となる条件反射制御法研修会の講義はプロの同時通訳が付き、日本語の講義が韓国語に訳されながら、進みます。

その前日に行われる大同病院の病院見学は、朴相運院長が韓国語と日本語で案内します。

条件反射制御法学会会長 平井 慎二

研修会開催に合わせ、大同病院の見学会を開催いたします。

参加をご希望される方は申込フォームへご入力ください。

受入人数が限られている為、定員に達し次第、申し込みを締め切ります。

お早めの申し込みをお待ちしております。

申込後に随時、参加決定通知書をお送りいたします。

日時 : 2019年12月6日(金) 14:00~17:00

参加費 : 無料

定員 : 20名

集合場所:6階講堂

見学場所:院内、デイケア、病院附属学校、グループホーム

※当日の状況によって内容に変更されることがあります。